

# 香川県小豆島町議会

## 事績2 住民に開かれた議会

小豆島町は、平成18年に内海町と池田町の2町が合併し誕生しました。合併時から2つの旧庁舎で分かれて業務を行っていましたが、移転統合した町立病院と隣接する介護老人保健施設を役場庁舎に改修し、平成30年5月から一か所で業務を行うようになりました。それに合わせて移転した議場にテレビカメラを設置し、議会事務局でのモニターだけでなく、庁舎内の町民交流ラウンジに大型のテレビモニターを設置することにより、ライブ配信ではありますが、誰でも視聴できるように整備しました。

これまで議会を傍聴するためには、議場に設置された傍聴席に限られていましたが、町民交流ラウンジは、申請の必要もなく誰もが気軽に訪れることができますので、議会に関心を持ってもらう機会の創出につながるものと考えています。

また、この映像はすべて録画しており、今後はインターネットで配信することにより、議場に来なくても、自宅で議会の様子を知ることができるよう計画しています。

令和元年12月定例会から、タブレット端末を導入しペーパーレス議会を目指します。タブレット端末は議会での利用だけでなく、議案や資料はいつでもどこでも閲覧可能となりますので、議員活動の有効なツールになるものと期待しています。

その他、議会の広報誌「小豆島町議会だより」を年4回定例会ごとに発行し、全戸配布しているほか、町のホームページでは、本会議前に議会の日程、議案の目録と一般質問の通告事項を掲載することにより議会への関心を促し、本会議終了後には、本会議の議事録全文を公開するなど、議会での質疑や採決、一般質問の様子を町民に分かりやすく伝えることに努めています。

平成30年6月定例会において議会活性化特別委員会を設置し、さらなる議会の活性化と住民に開かれた議会の実現に向け、より一層の取り組みを進めています。